

患者向け説明書:MR ワクチン(麻しん・風しん混合ワクチン) この説明書は、MR ワクチン接種を受ける方に必要な情報をまとめたものです。接種前に必ずご確認ください。

MR ワクチンとは

- **対象疾患:**
 - **麻しん(はしか):** 高熱、咳、発疹を伴い、肺炎や脳炎など重篤な合併症を起こすことがあります。感染力が非常に強い。
 - **風しん:** 発疹、発熱、リンパ節腫脹が主症状。妊娠初期に感染すると胎児に「先天性風しん症候群」を引き起こす可能性があります。
- **目的:** これら2つの感染症を同時に予防するために接種します。

接種スケジュール

- **接種回数:** MR ワクチン接種は、通常2回の接種が推奨されています。初回接種から中27日以上(標準的には6~8週間後がより効果的)間隔を空けて接種します。
- **効果:** 2回接種でほぼ100%に近い免疫が得られ、長期的に持続します。

副反応について

- **よくある副反応:** 発熱、発疹、注射部位の腫れや痛み。
- **まれな副反応:** けいれん、一時的な血小板減少。
- **重大な副反応:** 極めてまれですが、強いアレルギー反応(アナフィラキシー)が起こることがあります。

接種が推奨される方

- 定期接種対象年齢の乳幼児。
- 麻しん・風しんにかかったことがない、または免疫が不十分な成人。
- 妊娠を希望する女性(妊娠中は接種できません)。
- 医療従事者や教育関係者など、多くの人と接触する職業の方。

接種前の注意

- 発熱や体調不良がある場合は接種を延期することがあります。
- 妊娠中または妊娠の可能性のある方は接種できません。接種後2か月は妊娠を避けてください。
- 他のワクチンとの接種間隔については医師に確認してください。

接種後の注意

- 接種当日は激しい運動や飲酒を控えてください。
- 発熱や発疹が出るがありますが、多くは数日で改善します。
- 強い症状が続く場合は速やかに医師へ相談してください。

まとめ

MRワクチンは、**感染力が強く重症化する麻しんと、胎児に重大な影響を及ぼす風しんを同時に予防できる重要なワクチン**です。2回接種することで確実な免疫を獲得でき、安全性も高く、定期接種として広く行われています。

この説明書は一般的な情報です。詳細は必ず医師・医療機関にご相談ください。

副反応確認のため、接種後 20 分間体調確認をさせていただきます。

帰宅後、体調の変化などがございましたら下記にお問い合わせ下さい。

秋田赤十字病院 電話 018-829-5000(代表)

平日(8:30-16:30)は予防接種センターでの対応、それ以外の時間帯は救急外来での対応となります。